

二〇一九年度 健和看護学院 第二回 国語入試問題

◆◆◆ 解答は、すべて解答题用紙に書くこと。 ◆◆◆

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

幸福に生きているかどうか、人間の値打ちのひとつである。――

資本主義社会に生きている以上、お金は大切だ。だが、経済的豊かさがあれば人生の価値も高いかというと、そうではない。年収と幸福度の関係については、国内外でさまざまな研究が行われているが、結論としては、ある一定の年収を超えると、収入の高さは幸福度と比例しなくなる、ということになるようだ。

チイカク府の調査（二〇一四年）によると、その境目は一〇〇万、二〇〇万円あたりである。日本で年収一〇〇万円以上ある人は約五％。でも、残りの九五％の人は、幸せにならない、なんてことはない。この調査では、幸福感を判断する際に重視した事項」のトップスリーは「家計の状況」「所得」「消費」「健康状況」家族関係」となったが、日本人の幸福度は一九七〇年代以降、低下**bケイユウ**にある。

また、世界的に見て日本人の幸福度は残念ながらあまり高いとは言えない。※注1

中略 二〇一六年調査では国内・地域内の「格差」についての調査、分析が新たに加わったが、ほとんどの国や地域で幸福度の格差が大幅に拡大しており、幸福度の格差が小さい社会で暮らす人々はより幸福であるということが明らかになった。

①ここが大事なところだ。資本主義だから当然格差があつていい。でも、ほどほどの格差にしておくことが実はとても大切ではないかと思う。

日本はかつて「億総中流」と言われていた。お金を持っている人もお金がない人も、みんな「自分の中流の上だ」とか「中流の中だ」とか「中流の下だ」とか答えていた。みんながそれなりに中流にいると思えていたときのほうが僕たちの国の幸福感は高かったように思う。中略

いいことも悪いこともする、どうしようもない失敗もしてしまう、それが人間というギツカイなイキモノだ。AIよりずっと効率が悪い。それでも、覚えた「正解」以外の「別解」をいくつも見つけ出せるのは人間の強みである。人間が生きていくなかでは、合理的に解決できないことがいくらかでもある。そんなとき、自由な発想でどうハードルを飛び越えるか、②そこに人間の値打ちが出てくるのではないだろうか。

一見、成功した人ほど値打ちが上がるように思えるが、失敗を繰り返すプロセスがなければ成功は生まれない。ということは、失敗が多いことが値打ちにつながることもあるわけだ。

人間は大昔から失敗をするイキモノだった。約三二八万年前にエチオピアにいたアウストラロピテクスの「ルーシー」に逢いに行ってきた。エチオピア国立博物館だ。猿人なのに木から落ちていた可能性があるという。ルーシーの化石をCTで調べると、右上腕骨が骨折しており、落下して地面にぶつかったときに、dシヨウダキを弱めようと腕を出して起こる「圧迫骨折」の跡ではないかとeスイソクされている。そうであれば、人間の値打ちは失敗から始まっている、ということになる。木から落ちる失敗こそ、ホモ・サピエンスを生み出す幕開けだったのだ。

「ルーシー」が木から落ちてしまったのは、直立二足歩行をするようになったアウストラロピテクスが地上で生活することが増え、旧猿人の時代よりも木登りの能力が退化したからではないか。足の親指の位置は、サルからヒトへの進化の途上で徐々に変わっていった。サルの足の指は手と同じように枝をしっかりとつかめる機能を持つが、すべての指が同じ方向を向くヒトの足の指では枝をつかむことができない。サルであれば手のように器用な能力があった足を、人類の祖先はあえて退化させ、その代わりに直立二足歩行をすることで両手の機能を高めた。木から落ちる」という失敗で③別の道を見出していったのだ。

『人間の値打ち』鎌田貴

注1 世界幸福度ランキング

…国連の委託を受けて米国のSustainable Development Solutions Network (SDSN) が行っている。ひとり当たりGDP」社会的支援」「健康寿命」「大生選択の自由度」「寛容性」「社会の腐敗度」という指標を用いて世界の「三五〇を超える国や地域を対象とする。日本は、二〇二五年 四六位、二〇二六年 五三位、二〇二七年 五位。

問一 二重傍線部 a、eのカタカナは漢字に直しなさい。

問二 【一】内に入るア、ウの文を正しく並べ替え、その順を記号で答えなさい。

ア 資本主義社会に生きている以上、お金は大切だ。

イ 幸福に生きたためには何が必要なのか、幸福度や満足度などのことも考えながら、人間の値打ちについて考えてみる。

ウ だが、経済的豊かさがあれば人生の価値も高いかというと、そうではない。

問三 傍線部①とはどういうことか。簡潔に答えなさい。

問四 傍線部②を説明した次の文の空欄にあてはまる適当な言葉を本文中から抜き出して答えなさい。

人間が生きていくなかでは、1 2 にはできない、

3 どういうハードルを飛び越えるかという 4。

問五 傍線部③を説明した次の文の空欄にあてはまる適当な言葉を、1は漢字二字で考え、2・3は本文中から抜き出して答えなさい。

足の親指の位置を変え、様々な 1 の使用を可能にする 2 を向上させることで、
3 での生活という道を見出したということ。

二次の空欄に適当な漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

その二

- 1 気宇 大
2 明 止 水
3 坤 一 擲

三次の1～3の慣用句・ことわざ・故事の（ ）にあてはまる適当な言葉を漢字一字で答えなさい。

- 1 苛政は（ ）よりも猛し
2 （ ）の滝登り
3 （ ）に交われば赤くなる

四次の語の反対語を、それぞれ後の語群から一つ選び、漢字で答えなさい。

- ① 記憶
② 建設
③ 冷静

語群） ゾウセツ ハカイ フンヌ ボウキヤク コウフン チクセキ

五次の各問に答えなさい。

- 1 坂口安吾らと共に無頼派と呼ばれ、主な作品に『斜陽』『人間失格』『走れメロス』などがある人物を答えなさい。
2 次の作品の内、一つだけ作者が異なるものがある。その作品を記号で答えなさい。
また、ほかの四つの作品の作者名も答えなさい。
ア 『羅生門』 イ 壺関寺』 ウ 蜘蛛の糸』 エ 河童』 オ 鼻』

六 次の文の下線部において敬語の使い方が正しければ○、間違っていれば×を書き、正しく直しなさい。

- 1 父が本日伺いたいとおっしゃっております。
2 私のおばあちゃんが、そう申しておりました。
3 先生はこの本をお借りになりましたか。